

報告書

1. 事業内容

本事業は、和日傘を活用し、夏の暑さ対策としての日傘利用の促進、環境負荷の少ない観光促進、歩くまち京都の推進および伝統産業である京都の和傘の認知向上と利用・販売促進を目指したものである。そのために有効な手段として、和日傘のレンタルサービスを構築することを計画して開始した。活動の主体は私のゼミの学生で、私の指導監督のもと事業を進めた。

傘には、日吉屋が製作している「晴雨兼用傘 ryoten」という折りたたみ傘を選んだ。ryoten は、和傘の構造を持ちながら、材料には自然素材やリサイクル可能な素材を用い、環境負荷が少ない点に特徴の1つがあり、かつ非常に軽量なことから、事業の目的に叶う傘である。

しかしながら、レンタル事業のノウハウを持つ企業との話し合いの結果、折りたたみ傘のレンタル事業は実現できず、計画変更の必要が生じた。

そこで、事業計画を一部変更し、和日傘の認知度向上と普及促進のための宿泊施設におけるレンタル傘利用・グッズとしての製作販売・アンケート調査を目指す事業へと計画を変更し、京都知恵産業創造の森にも了承を得た。

2. 事業実績

- ①ホテル Nazuna 京都様におけるロゴ入り和日傘の利活用とアンケート調査への協力
- ②同志社大学のグッズとしてロゴ入り和日傘の販売と利用者によるアンケート調査への協力
- ③協力機関における和日傘の利用とアンケート調査への協力

3. 今後の活動

今後の計画としては、アンケート調査結果をもとに、和日傘の普及と利用促進のために必要な課題を抽出し、課題解決の方策を考察したい。学生は、それをもとに卒業論文の執筆を行う。

それとともに、夏の暑さ対策が求められている場所や販売の可能性がある場所に対して、可能な範囲でアプローチしたい。複数の候補を考えているが、それらの中から卒業までの短い時間でアプローチ可能なものを選定し、取り組む可能性がある。また、和日傘に関する情報発信を行うために企画を実施することなども候補である。



外国人観光客へのアンケート調査



ロゴ入り傘の試作品